

研究課題の名称

出血性胃十二指腸潰瘍の内視鏡的止血術後の再出血に対するボノプラザン（20m g 懸濁液内視鏡下投与法）とランソプラゾール（1回 30m g 1日 2回静注投与法）の有用性に関する研究

研究の目的及び意義

内視鏡的止血術後の再出血予防法として、新規の酸分泌抑制薬であるボノプラゾンと既存のPPIどちらが有用であるかを研究する。

研究対象者の選定方針

内視鏡的止血術を行った胃十二指腸潰瘍患者を対象者とし、封筒法を用いて無作為に割付ける。

研究予定期間

承認日（2018年3月14日）から西暦2019年3月31日